

答弁 原因究明中であり、現在は代替機で運用し、正常に受信できている。



全国瞬時警報システム(J-ALERT)

公金の私的流用事件と官製ワーキングアウトについて

質問 今までにこのような事件はあったのか。

答弁 合併以降、職員による公金の私的流用事件はない。

質問 事件の背景は何か。年収おおよそ200万円と1つ低賃金水準が背景にあるのではなか。

答弁 公金の管理不徹底であった。本人の資質の問題である。

質問 事件名が公金の私的流用事件となっているが、横領事件ではないか。

答弁 横領と言ふ言葉は軽々に使えない。

質問 正規職員を減らし、今後期限付

任用職員を増やしていくと事件が起きやすくなるのか。

555場5557(ハンカシャリーナ)の稼働について

質問 利用者は高級施設を望んでおらず、三条市のビクター調査でも明らかである。商売でお客様のニーズに合せられないのか。

答弁 ビクター調査は三条市全体のものである。

質問 メニューにウーロン茶がないことを自ら認めているが間違いないか。

答弁 メニューにウーロン茶がないこと認識で、9月議会で答弁した。

質問 売り上げが上がらない場合、戦略的撤退はあるのか。

答弁 大きな路線変更は取締役会等で判断する。

川通どれみ保育園の運営について

質問 9月定例会以降、保育園の保育方法に変化があったのか。また、保護者の不安や心配は解消されたのか。

答弁 議会を取り上げられた不安等について再度確認し、連名で出した文書については、改めて遵守するよう

う指導した。今後も園への訪問や情報交換を密にするとともに、保護者からの相談や苦情についてもより丁寧に対応したい。

パルミー裁判について

質問 昭栄開発株式会社25期の決算予想はどうか。

答弁 昭栄開発株式会社25期の決算予想は、債務超過の状況であり、出資の900万円が入らない状況であるが、社長の責任はどう考えるのか。首長として、第三セクターの社長としても財務状況を説明する責任があると思いがいかか。

質問 昭栄開発株式会社25期の決算予想はどうか。

答弁 会社の収支状況については、基本的に取締役会、株主総会を経て、本年の決算書に向けて粛々と進めている。基本的には取締役会等々にもお断りしているわけでもない。この場での答弁は差し控えない。

合併特例債の残高について

質問 特例債が可能な期限が2年余りとなった。残高はどのくらいか。事業の年次計画を示すべきではないか。

答弁 残高は30億5000万円であり、全部使い切りしたい。毎年度、予算と1つ形でのホームページで公表している。

質問 特例債の5年間延長法の活用を検討しているか。

第二中学校区小中一体校の通学路の安全について

質問 小中一体校の開校に向け、通学路の安全対策はどうか。

答弁 南四日町の県立工業高校前の変則六差路は、外側線を引き直し路側帯の確保を検討している。直江町丁目の丁字路は、ボールの設置によりドライバーへの注意喚起をしている。安全見守り体制の構築と安全教育の徹底を図りたい。



歩行者の安全確保が必要な通学路(直江町一丁目丁字路)

子宮頸がん予防について

質問 子宮頸がんは原因が解明されていて予防が可能である。最新の予防ワクチンとがん検診の知識を普及してはどうか。

答弁 中学生を対象に予防接種を実施しているが、成人女性に対して

答弁 期限である26年度までの完了は大丈夫と思っている。

道心坂の最終処分場について

質問 市民団体の自主検査で自然界に由来しない物質が流出しているのではないかと、この報道があった。その物質とは何か。また、検査体制はどうか。

答弁 市民団体に問い合わせたところ、電気伝導率や塩化物イオンが高いというだけで、自然界に由来しない物質は特定されていなかった。専門家に相談している。また、定期的な検査を行い報告する。

質問 増設工事が行われているが、工事が完了しないのに焼却灰を持ち込めるのか。かさ上げによりどのくらい延命効果があるのか。

答弁 12月中に完了予定であり、1月以降に搬入可能となる。延命効果は精査中で、判明次第、必要に応じて議会の所管委員会等に報告したい。



工事中の最終処分場

荒沢小学校、森町小学校の統合について

質問 下田地域複式学級懇話会は、森町小、荒沢小統合の方向で結論が出た。懇話会メンバーの各学校PTA会長などは1年交替で入れ替わる構成だが、継続的に議論ができる構成にすべきではなかったのか。また、懇話会はどのように継続させていくのか。

答弁 統合準備委員会の第1回会議において、重要な事項は今年度中に決定すると確認した。委員が交代しても大きな影響はない。全体の懇話会は、下田地域の少子化の問題、それを見渡した立場で議論する1つ位置づけになる。

質問 創立50周年の荒沢小の生徒数は半世紀を過ぎて10分の1になった。これは、40年、50年後の下田地域の姿そのものではないか。教育の問題だけにとどまらず、この地域をどう考えていくのか。

答弁 下田地域は観光、交流人口の拡大をポイントにしていく。下田地域交流拠点施設、吉ヶ平周辺整備、栗ヶ岳登山道アクセス道路等は、取り組みの一端と捉えている。キーワードとしての八里越を観光資源として活用するために行政、商工団体等々が話を進めている。

見喰川の改修計画について

質問 三条市と見附市の境界付近から上流において、改修計画及び刈谷田川への分流計画がある。分流計画において放水路のポンプは毎秒3トンの能力であり、県は「昨年のような大雨の際にはポンプは停止する」と説明しているようだが、下流への影響はどのようなのか。

答弁 今回改修計画は10年に1回程度の大雨に対応するものであり、

不育症について

質問 妊娠はするものの、流産を繰り返す不育症の治療に助成をしようか。

答弁 「有効性、安全性が確認できれば治療に対し保険適用したい」との国会答弁があり、今年1月から血栓症、塞栓症に対して自己注射薬の保険適用が開始された。国の動向を注視したい。

栄庁舎3階の利活用について

下流は能力を有している。昨年のような大雨対策の事業ではないと認識している。

質問 合併してから7年の時が経っている。いまだに3階の利活用が示されていないが、その後検討されているのか。栄庁舎は三条市教育の拠点になっている。ミニホールとして活用できないか。

答弁 現在検討中であり、来年の3月議会には具体案を公表できるようしたい。



3階の利活用が検討されている栄庁舎